

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム設楽の家

## 目標達成計画

作成日: 平成 30 年 10 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	44	排便チェック表をつけているが便秘を見落としてしまい、下剤や坐薬を使うタイミングが遅れてしまう事がある。	適切なタイミングで下剤や坐薬を使う事で、便秘が悪化しないようにする。早めの対応で使用回数を減らす。	夜勤者は排便チェック表を確認し、便秘している利用者の坐薬や便秘薬を当日服用する薬箱へセットする。また、申し送りファイルの当日の予定欄へ記入する。	ヶ月
2	42	毎食後、口腔ケアを行っているが、時々できていない利用者がある。また、主治医の先生より「口腔内は毎日きれいにしておくように」との指示がある。	毎食後の口腔ケアを一人も忘れる事なく行い、口腔内の不衛生が原因となるトラブル(虫歯、口臭、誤嚥性肺炎等)を未然に防ぐ。	毎食後、自立している方には一人ひとり声掛けを行い、忘れず歯磨きを行っていただく。介助の方は「〇〇さん口腔ケアを行います。行いました。」等職員同士の声掛けを行い、忘れず口腔ケアを実施する。	ヶ月
3	40	献立がマンネリ化してきている。	今まで以上、よりたくさんの具材を使い、メニュー数を増やす。	利用者との話で出たメニューをメモし情報を共有する。餃子などは、既製品ではなく時々手作りにする。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。